

端午の節句に入る菖蒲湯。江戸時代、武家社会で尚武（武道を重んじる）と、勝負と言葉をかけて始まつた風習だ。この風呂に入れる菖蒲と、植物園などで美しい花を咲かせる菖蒲。まったくの別物だという事はご存じだろうか。

花を咲かせるものは正確には花菖蒲という。梅雨の長雨の頃に咲き、寿命はたった

## 杜のコラム

三日ほど。その短い間に雨に満れながら日々変化していく様子を「花が芸をする」とよび、江戸の庶民はとても好んだそうだ。

さて、「菖蒲」は「菖蒲」とも読む（以下アヤメとする）。漢字は同じ、しかしアヤメは菖蒲とも花菖蒲とも違う植物である。が、アヤメと花菖蒲が花咲く様子はそっくりなのだ。紛らわしいついでにもう一つ登場させてみよう。「何れ菖蒲か杜若」ということわざがある。どちらも素晴らしい

## 興正寺総本尊の御前にすらり大祭にあわせ大日如来幟旗奉納



去る4月8日、大日堂にて大祭「草蔓茶羅会」が行われました。花散らしの雨降る中でしたが、多くの方にご参拝いただきました。

# 八事山大庫

2905号

## 特集

八事山歳時記	.....2・3ページ
終活道場	.....9ページ
運営だより	.....11ページ

## 大般若經転讀祈禱会

各日 10時30分・13時より 西山本堂にて

※3日は10時30分のみ

六百巻におよぶ大般若經を「転讀」という特殊な読み方をして、その功德を以て國家安寧や厄除・身体健全をご祈願いたします。

### ◎厄除仙石加持

特別祈福料／三千円  
般華五枚セット授与



5/3(水祝)  
花まつり

13時より  
※12時45分より法話

特別朱印



お祝いさまの誕生をお祝いする法会です。花御堂の中の小さなお祝いさま（誕生佛）に甘茶をおかけします。

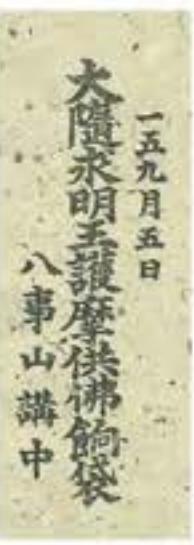
5/3(水祝)

5(金祝)

## 「御仏餉袋」

古来、お寺へ参る方々は、この「御仏餉袋」へ白米などを入れ、仏さまへのお供えとしていました。お供えはおさかりとして主に僧侶の糧となっていましたが、當山では毎月5・13・21日のお供えパンと同様におさかりの白米の寄付をさせていただきます。

納経所にて「御仏餉袋」をお分けしておりますので、大般若經転讀祈禱会（一月五日・五月一・五日・九月五日）にてお持ちください。



6/10(土)  
観音会のお知らせ

平成29年

本年も観音会を開催させていたただいた方が断然わかりやすいはずだ。五月に入ればアヤメ、菖蒲。白い模様が杜若。アヤメには大きな網目模様（文目）がある。



## 八事山興正寺 受付時間のご案内

祈祷・供養(遅向・法要) 9時~16時(最終受付15時30分)  
予約優先。当日受付はお待ちいただけますのでご了承ください。

納経所受付 8時~18時  
御守・御朱印・納経・おみくじ・その他授与品等

永代供養受付 10時~17時(予約優先)  
毎週火曜定休(5・13・21日と行事日を除く)

普門園 10時~16時(最終入館15時30分)  
料金500円(茶室・竹箪亭での呈茶付/不定休) ※毎月5日・13日 9時~

甘味・食事処 八琴庵 10時~16時(L.O.15時30分)  
毎月5日を過ぎた火曜定休 ※毎月5日・13日 9時~



△「Theアクション!忍者なりきり教室」



△「興正寺開山縁起~律宗と戒律」

去る三月二十五日・二十六日、第三回「興正寺さくらカレッジ」を開催いたしました。開山より、学問・修行の場として長く栄えてきた修行寺としての歴史を継承する、さまざまな学びの場となりました。興正寺へ初めてお越しの方をはじめ、大変多くの方々に受講いただきました。

### 第三回 興正寺さくらカレッジ



△「春の野の花を愛でる生け花」

興正寺さくらカレッジにて集まつた皆さまの募金は、二日間で十二万六百三十三円となりました。皆さまのお心に深く感謝いたします。この募金は地域の児童福祉施設への贈り物となりますので、その様子も追ってご報告いたします。

### 大日堂大祭 華曼茶羅会

四月八日、興正寺総本尊である大日如来の大祭縁日・華曼茶羅会が厳修されました。大祭にあわせ、大日如來幟旗も奉納されました。この幟旗は来年の大祭までの一年間、大日堂にて皆さまをお迎えします。



三月十五日、旧二月十五日に人滅された釈迦尊の生涯の徳を讃える涅槃会が厳修されました。法会の前に僧侶による法話も行われ、参加者は大きな涅槃図を見ながら熱心に僧侶の解説に聞き入っていました。法会後、桜茶のお接待が振舞われました。

### 涅槃会





△永代祠堂法会



△動物慰靈法会

## 家族そろつてご先祖供養 春季彼岸会

春のお彼岸の合同供養会が本堂・圓照堂にて厳修され、各先祖代々の供養を行いました。  
三月十九日に永代祠堂法会が、お中日の二十日には興正寺合同慰靈法会、人形・仏具供養会、  
動物慰靈法会がそれぞれ営まれました。



## 結縁灌頂(金剛界)

真言密教の秘奥儀式である結縁灌頂が、去る四月五日に開壇されました。多くの壇信徒が入壇され金剛界の仏さまとご縁を結ばれました。興正寺では年に一度、四月五日に開壇しています(平成三十年は胎藏界です)。



## 開山忌記念茶会

濃茶席 裏千家 神谷宗銀先生  
薄茶席 遠州流 丸山宗翠先生

開山忌に合わせ、記念茶会が営まれ、濃茶・薄茶のそれぞれの茶事が開かれました。



## 興正寺開山忌

興正寺の開山である天臨圓照大和尚の命日にあたる二月十四日、當山及び法類寺院の僧侶が参集しました。僧侶らは本堂を出発し、東山奥之院にて追善法会を厳修した後に開山堂(弘法堂)、歴代先師を祀る廟を順に参拝いたしました。



は家族や知人の方にお渡ししてもよいでしょ  
う。病気や怪我で寝込んでいる人がいらっしゃ  
れば、枕元などに置いていただきます。



△隨求陀羅尼(輔)

受けられたお血脈は、ご自身のお守りとして持つていただきが、仮壇の中や汚くならず粗末にならないところへしまってください。たくさん持っているよ、という方

同じようなことはよくやれられます。せいかく白鳥で一生懸命お祭りをしていただいたお血脉。どのように持つておくのか、どのように使えばいいのかもこの機会に知つておきましょう。

守通を読んでいる方から、このような質問をいただきました。  
「私、お血脉いっぱい持つとなるけどどうするの？」  
「おはあちゃんが亡くなつて、お仏壇の中を整理していくたらたくさんお血脉が出てきました。どうすればいいですか？」

\*\*\*お血脉はどうするの?\*\*\*

先月は大隨求明王さまの七ヶ月参りを満願したら授与される「お血脉(隨求陀羅尼)<sup>けいみゃく(だらに)</sup>」が登場しました。仏さまとご縁が結ばれたことの証でございますが、このお血脉について質問をいただいたので、前半はそのお答えを。後半はぼつくり・安産以外の大隨求明王さまの御利益について、お話ししたいと思います。

もうひとつの「滅罪」。読経や布施、懺悔などによつて自己のなした罪悪を消滅させることです。

一人の青年のお話。その青年は大名や領主の家に

入つては金品を盗み、貧しい人にばらまくことを生業<sup>うぶ</sup>としていました。ある日のこと、村の外れに二つの大きな寺を見つけ、金目のものを求めて堂内を探索していると、ある大きな軸に目がとまります。そこには見るも無残な地獄の様子が描かれておりました。身震いがして動けなくなっているうちにお坊さん達が青年を見つけ捕まえてしましました。やつてた住職は「盗みを続けてきたお前さんは、このままだと地獄に行かにやならん」と厳しい顔をしていました。「どうすれば私はあそこへ行かずに済みますか?」と青年が尋ねると、住職は「もう悪いことをやめ、毎日お参りしなさい」と答え、一つの御守を手渡しました。

# \*\*\*大隨求明王さまに願いを\*\*\*



#### △安産祈禱にて授りされる胸帶

# 寺 通

高野正清

大隨求明王さまの数ある御利益を、本当に簡単に分ければ「息災」と「滅罪」の二つになるのではないかと思います。

です。御守の中に入っていたのは隨求陀羅尼でした。改心をしてお参りを欠かさずにしていた青年に、大随求明王さまの滅罪の徳が現れ地獄の苦しみに遭わずには済んだのです。

## 縁日さんぽ。

今月の縁日さんは、毎月28日・不動明王縁日のご紹介。

静謐な空気に不動明王の智慧の炎が上がる

# 「不動護摩堂」

不動明王さまは大日如来さまが姿を変えた仏さま。忿怒相(大いに怒ったお顔)で、人々の迷いを断ち切る「剣」と、煩惱から抜け出せない人々を縛り上げてでも救い出すための「縄」を持ち、魔を降して私たちを救済してくださいます。一見恐ろしげな姿ですが、厳しくも深い慈悲と決意に満ちておられる、たいへん優しい仏さまです。

### ■不動護摩堂の年間行事

#### ◆大祭 不動護摩堂特別護摩祈禱会(6月5日・13日)

祈禱料／2,000円(各日1座目 10時30分より 2座目 12時より)

#### ○不動護摩堂の護摩祈禱

護摩は古代インドの儀礼「ホーマ」を起源とする真言密教の秘法です。護摩壇にさまざまな供物と、願い事を記した護摩木をくべて、不動明王に捧げます。燃えさかる火炎は不動明王の智慧そのものであり、煩惱を清らかな願いへと高めて成就させる力を持つといわれています。



#### ○東海三十六不動尊靈場お砂踏み(入場料300円)

大祭に合わせ、開催されます。お砂踏みとは、靈場各札所の「お砂」をそれぞれ集め、その「お砂」を札所と考えて「お砂」を踏みながらお参りすることです。そのご利益は、実際に靈場巡礼を行ったことと同じであるといわれております。

## お参りしよまい!興正寺の諸堂縁日

興正寺の縁日は5日と13日だけじゃありません!山内のあちらこちらにある御堂で、様々な仏さまをお祀りして縁日のおつとめを行っています。誰でも参加できるこれらの縁日、御堂や担当のお坊さんによって雰囲気が全然違うんですよ!



**高野山 奥之院参拝の旅**

日帰り

朱印代 (別料)  
高野山奥之院 300円  
根本大塔 300円

コース番号 75945-392

[日帰り] 平成29年6月1日(木) 6時40分/興正寺光明殿 (おひとり様) 11,000円

行程案内  
興正寺(6:40集合・本堂でおつとめ/7:00出発)=中本名玉堂(昼食とお買物)=高野山奥之院(参拝)=壇上伽藍(根本大塔 内拝)=興正寺(19:40予定)

## 申込締切 5月18日(木)

◆上記締切日に係らず、募集人員(40名)になり次第、締め切りとなります。  
お早めにお申し込みください。

旅行企画・実施 クラブツーリズム 株式会社 名古屋テーマ旅行センター

TEL.052(300)0011 〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄3-3-21 セントライス栄

観光庁長官登録旅行業第1603号 [総合旅行業員取扱管理者 藤原弘行] 平成28年12月12日発行 管理番号:63474

JATA正会員 旅行業者登録引 取扱業者の内容、営業時間等については、平成28年12月12日を基準日としています。

GPT保証会員 旅行業者登録引 旅行サービスの内容、営業時間等については、平成28年12月12日を基準日としています。

### 団体参拝報告



#### 名古屋二十一大师 名古屋七福神めぐり団体参拝

(随行僧侶) 三井正優

去る3月28日(火)に団体参拝に行ってまいりました。当日は快晴でお参り日和となりました。ご参加いただいた皆さまには、お参りを通じて仏縁を深めるとともに、普段の生活の中では見過ごしてしまいがちな「有り難い」と思う気持ちを感じ取っていただく尊い一日となりました。

(正優)





△こだわりの蕎麦を提供するため、季節ごとに各地の提携農家から蕎麦の実を仕入れ、自社工場で製粉まで行っている。



△こだわりを注ぎ込み丁寧に手づくりされているヤコトラカン。蕎麦の香り高いそばがきの皮と上品な甘みの組合せが絶品。



●落合 京子さん

愛知県出身。辻調理技術研究所日本料理研究科卒業後、料理研究家の奥村赳生氏のもとで働く。その後、奥村氏の紹介で紗羅餐の社長と出会い、企画室室長として紗羅餐の甘味メニューづくりに貢献している。

「縁日や祝祭日などに、光明殿前で販売されている興正寺オリジナルそばがき饅頭【ヤコトラカン】。作っているのは、名古屋市内で「だわりの蕎麦」を提供している気鋭の蕎麦工房紗羅餐だ。江戸時代、八事は「蕎麦処」として有名で、またそば饅頭もお寺参りのお土産として人気を集めていたという。そこで、またそば饅頭もお寺参りの有名で、またそば饅頭もお寺参りのお土産として人気を集めていたといふ。そんな古の八事を彷彿とさせるそば饅頭を再び復活させたいというお寺からの願いに、興正寺マルシェが縁となり、紗羅餐とコラボレーションという形でそば饅頭づくりが始まった。

「数ある老舗の和菓子屋さんではなく、蕎麦のプロである私たちにオリジナルそばがき饅頭のご相談をいただけたことが、本当に嬉しかった。」と語るのは、紗羅餐の企画室室長として【ヤ

ゴトラカン】の開発に携わった落合さん。紗羅餐ではもともと、そば・緑茶・そば茶の三種類のそばがき饅頭を作っているが、興正寺から「仏教において尊ばれる紫色を使って欲しい」というリクエストがあり、食品には青や紫といった色があまり存在しないため悩んだという。そんな中、紫イモに注目した。色はもちろん、蕎麦と同じように瘦せた土地にも力強く根付くイモは生命力を感じさせて良いのではないかと採用した。しかし、紫イモは産地によって色の出方が全く違うため、様々な産地のイモで試行錯誤を繰り返し、現在使用している国産のイモに辿り着いたという。約二ヶ月間の開発期間を経て、興正寺オリジナルの銘菓、そばがき饅頭【ヤコトラカン】が誕生した。



## 興正寺の味ヤコトラカンがもつともつと親しまれるようになります。

蕎麦工房紗羅餐企画室室長 落合京子さん

人と街とお寺をつなぐ場所  
八事山文庫

田植えをする「早苗月」、  
梅雨の始まり「五月雨月」

皐月

旧暦五月のこと

夏のはじまり。さわやかな気持ちの  
良い五月晴れの空に、鯉のぼりが  
懸々と泳ぐ。

立夏

五月五日

あらゆる生命が満ち満ちていく季節。太陽の光を浴びて、万物が生き生きと成長する。

小満

五月二十日



このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月ご紹介しています。

身体・言葉・心。この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。

「身口意」。

身体・言葉・心。この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。

このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月ご紹介しています。

貧しくても子の前につぶやかず  
苦しんでも子の前にうめかず  
疲れても子の前によろめかず  
悲しんでも子の前に微笑を忘れず  
病んでも子の前にくずおれず  
裏切られても子の前に失望せず  
愛しても子の前に恩をさせず  
超人のような母がいっぱいいる

「超人」(河野進)

河野進(1904~1990)は和歌山県生まれの牧師、詩人。岡山ハンセン病療養所での慰問に50年以上携わり、またマザー・テレサに協力する運動に尽力しました。数々の詩の中で、母に関する作品も多く残っています。5月14日は母の日。超人たちに、感謝の言葉を伝えましょう。



紅唐子

昨日  
今日  
あした…

八事のお山の

先日椿を献木頂いた方から、嬉しいお手紙が届きました。十人が入れたら元気にならうといった新規を一緒に送つて下さいました。八事のお山には、こういった方達の温かい気持ちを映す花や、自じれる方がからする

椿が届きました。十人が入れたら元気にならうといった新規を一緒に送つて下さいました。八事のお山には、こういった方達の温かい気持ちを映す花や、自じれる方がからする

に纏つて、それが記事となつた新聞を一緒に送つて下さいました。八事のお山には、こういった方達の温かい気持ちを映す花や、自じれる方がからする

悪いかな?肥料を入れたら元気にならうといった新規を一緒に送つて下さいました。八事のお山には、こういった方達の温かい気持ちを映す花や、自じれる方がからする

と、気に掛けてくださいと、気に掛けられました。自然の命を我が事のように感じられる方からする



姫リンゴの花



仏事の

ひふみい



仏事のこと、なんでも知ってるよって人はいますか？  
自信をもって手を挙げられる人は少ないんじゃないのかな。いざその時になってみないとわからない仏事のあれやこれ、お坊さんに聞いて一つずつ解決しちゃいましょう。

### その28 「お参りの仕方②」(全5回)



おっさま、きょうはお寺への入り方をおしえてください！

はい、では順番に行きましょう。

①山門の前で一礼

門は仏さまの世界への入り口です。心と身を正しましょう。

②手水舎で身を清める

左手、右手、口の順です。口を漱ぐときは右手に柄杓を持ち、左手に水を受けます。最後に柄を洗うことも忘れなく。

③梵鐘を撞く

これからお参りをさせていただきます、という仏さまへのお知らせですね。



仏さまに失礼がないように、しっかり準備します！

興正寺では鐘を撞くことができますが、禁止している寺院もあります。気を付けてね。



興正寺ホームページでは仏事のお悩みをスバッと解決！トップページから、「仏事とお墓のお悩み解決」をクリック！

まさにこれから上にのびようと  
いうつるの先を子犬がくわえて  
引っ張っています。まるで綱引きで  
もしているかのよう。もう一匹の  
子犬はともにはしゃぐでもなく、  
のんびりとした様子でそれを眺  
めています。もしかしたら既にひ  
としきり遊び、穏やかな陽ざし  
に、眠気を誘われているのかもし  
れません。すぐ脇に逃げるでもな  
く蝶が舞っているのも長閑さを感  
じさせます。



\* 每門圓掛鏡 五百円(呈茶付)

寺宝公開②4 白藤子犬戯図

藤はまめ科の落葉低木で、つる性の幹が他にからみついて延び、晩春から初夏にかけて薄紫や白の花がふさ状にたれて咲きます。

晴れた日にこんな光景を目にしたから、思わずカメラを向けてしまうかもしれません。



興正寺 冊

新緑が目にまぶしい八事の森での  
お茶会です。興正寺が担当する席も  
お楽しみに!!

- ◆開催日 平成29年5月13日(土)  
 ◆時間 10時~15時(9時より受付)  
 ◆茶席 薄茶席(竹翠亭)表千家 柴田紹和  
           薄茶席(耕雲亭)興正寺  
 ◆茶券 二席 1,500円

遊翠の心「茶の古典を読む

4月からは『茶の湯の歴史』に学びます。ありふれたタイトルの奥に、通説を覆す実証に裏打ちされた驚くべき内容が数々ちりばめられた、大変刺激的な本です。



- |                          |                    |
|--------------------------|--------------------|
| せひ、こ一緒に「茶の湯の歴史」を学びませんか!  |                    |
| 4/6(木) 第一章 中国の茶と日本への伝来①  |                    |
| 5/11(木) 第一章 中国の茶と日本への伝来② |                    |
| 6/8(木) 第二章 茶の湯以前①        |                    |
| 7/6(木) 第二章 茶の湯以前②        | 時 間: 10時~12時       |
| 8/3(木) 第三章 茶の湯の成立①       | 支 具 料: 1,500円(屋茶付) |
| 9/7(木) 第三章 茶の湯の成立②       | 講 師: 樹田英伸僧侶        |

今回、この四月から新たに取り上げている書物は残念ながら「古典」ではなく現代の書物なのですが、しかし、茶の湯の歴史を眺めてみるに最適で、かつ知的刺激に満ちた素敵な書物です。日本文化史研究者・神津朝夫先生による『茶の湯の歴史』。古代日本にお茶が伝わって以来、今日に至るまでの大きな流れを概観できるだけではなく、いわゆる通説に鋭い学問的なメスを入れ、より客觀性の高い眞実の「茶の湯の歴史」を教えてくれる、そんな書物です。たとえば、「お茶の実は一体いつ日本に伝わったのか?」「本当に茶の湯と禪宗は関係が深いのか?」「千利休の本当の師匠とは?」「三千家の点前の違いはいつころ細分化したのか?」などなど、気になる方は、ぜひご一緒に学びましょう!毎月一回、一章の半分づつ読んでゆきます。テキストは事前に入手ください。(途中だけの参加も可能です。)

たちが読み継いで来た、お茶にまつわる書物。茶人ならばその名前くらいは聞いたことのあるような、古い本の数々。

知つてはいてもなかなか手を出せないかもしれない「茶の古典」ですが、と一緒に勇気を出して聞いてみませんか？

竹翠だより  
お茶が教えてくれた  
「おわせ

何事も表面にあらわれるものには、その背景があります。私たちが日常慣れ親しんでいる「お茶」という文化にも、現在の形に至るまでの歴史や思想、物語があるのです。

遊翠の心教室

## 紗羅餐in八琴庵

『この日だけ!の美味しいお蕎麦』はじめました。

毎月5・13・21日限定!!

八琴庵で美味しいお蕎麦をお召し上がりいただけます。  
「蕎麦工房 紗羅餐」のスタッフが八琴庵で腕をふるいます。  
八事で紗羅餐のお蕎麦を食べてほっこりお寺参り。

お品書き

- 蕎麦各種
- そばがきせんざい
- ヤゴトラカン

※該当の3日間は上記お品とドリンクメニューのみのご提供です



## — 2017年 終活道場 開催のお知らせ —

### 一日修行体験・特別篇

# 終活道場

—「死生観」を考える、お寺だからできること—

#### ◆タイムスケジュール

10:00~	お話	「より良く生きる」を考える ◆終活道場案内人:林直子 ◆興正寺僧侶:樹田英伸
11:25~	修業	外作務 お寺の境内をご参加の皆さままで清掃する「外作務」を行っていただきます。
12:20~	修業	昼食【食事作法】 僧侶より「食事作法」について学びながら召し上がっていただきます。
13:00~	講義	法話【死生観について】 ◆興正寺僧侶:樹田英伸
14:00~	修業	瞑想体験 心を整える為の瞑想法の基本を学び、無心になりご自身と向き合う時間です。
14:50~	修業	心の書道 一日を通して、皆さまの心に浮かんだ言葉を書にしたためていただきます。
15:00~	お話	座談会 樹田僧侶、林氏、ご参加の皆さまでお話いただける場です。



日時 ①平成29年 6月18日(日) ②9月9日(土) 10時~16時 (※時間は①②共通)

支具料 3,500円(昼食付き) 定員 15名【先着予約制】 ①の申込締切 6月14日(水) 持ち物 筆記用具・帽子・タオル  
飲み物(フタができる容器に限る)

参加お申込は、公式サイトまたはご来寺にて承ります。

※9月9日(土)の回もご予約を先行受付中です。

注意事項  
●必ずご一読ください

※タイムスケジュールは、状況等により変更になる場合がございます。※外作務がございますので、動きやすい服装でお越しください。作務衣(上着のみ)ご用意いたします。※足の悪い方のために、正座補助具のご用意もございます。ご希望の方は、ご予約時にお申し出ください。※当日は開始10分前までにお越しください。



## 5月の興正寺講座

## ■ 仏讃歌

## 御詠歌上級

講師 鈴村隆弘

5月11日・19日・30日 13時30分より 光明殿  
金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

## 御詠歌初級

講師 鈴村智弘

5月3日・14日・21日 14時より 光明殿  
金剛流御詠歌の初級講座です。3・21日は本堂出仕。

## 御詠歌入門

講師 鈴村智弘

5月6日・20日 14時より 光明殿  
金剛流御詠歌の超入門、お作法や符の読み方からはじめます。

## ■ 体験する

## 阿息観(密教禪)

講師 杉浦宣秀

5月10日・20日・30日 14時より 普照殿/奥之院  
ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっています。誰でも心地よくリラックスできますよ!

## 阿字観

講師 杉浦宣弘

5月27日 奥之院  
真言密教の基本的な瞑想法です。阿字観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

## 写経・写仏

講師 横田英伸

5月21日 11時より 光明殿  
毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

## ■ 学ぶ

## 仏教入門講座

講師 森田泰澄

5月25日 14時より 普照殿  
難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

## 仏典読み解き講座

講師 横田英伸

5月18日 10時より 普照殿  
仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著「往生要集」を読み解いていきます。

※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

## ■ 健康づくり

## ゆらゆらペアストレッチ

講師 町田一寿

5月13日 ①10時②11時30分より 普照殿  
支具料1,000円(予約優先当日参加可)

## TERA-YOGA(寺ヨガ)

講師 西口のぞみ

5月21日 10時より 普照殿  
支具料2,000円(要予約・〆切前日17時)

## マタニティヨガ

講師 西口のぞみ

5月21日 13時より 普照殿  
支具料2,000円(要予約・〆切前日17時)

## マンスリー木曜ヨガ

講師 スタジオソラ

月に1度木曜日(不定期)19時30分より 西山本堂/普照殿  
支具料2,000円(要予約・〆切前日17時)

## ■ 遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

## 写経

5月9日 講師 西山海良 支具料1,500円

## 阿息観

5月23日 講師 西山海良 支具料1,500円

## 日々折々の書

5月22日 講師 中村均 支具料2,000円

## 水墨画

5月26日 講師 山田静舟 支具料2,000円

## きもの装い(入門・応用)

5月10日 講師 小泉美代子 支具料2,000円

## 茶の古典を読む

5月11日 講師 横田英伸 支具料1,500円

御詠歌上級・初級を除くすべての講座でWEB予約が可能となりました。興正寺公式ホームページ「まなびの講座WEB受付」よりお申し込みください。

## 小さなお子様、年配者、そして障害者にもやさしい寺へ

【運営だより】

八事山興正寺は、この10年ほど続いている平成大改修の一環として、いわゆるパリアフリー化のために施工した場所が何カ所もあります。たとえば車椅子、ベビーカーや歩行困難な方のために、スロープとエレベーター・エスカレーター、そして身障者用のトイレなど、普照殿、光明殿、圓照堂など主だった建物に用意されています。珍利道だった本堂前の参道や墓地参道は、石壁への整備が進み、ゆっくり森の中を散策しながら歩くことができるようになりました。

反対に、お寺という性格上、全ての場所に完璧な「パリアフリー」を施すことは現実ながらできません。「年配者なんだから、足が不自由なんだからどこでも車で行けるようにして、停めさせて」とも言われますが、全てフリーにすることが必ずしも本当のパリアフリーではないのです。興正寺の境内は、小さなお子様から年配者に至るまで、皆が安心して安全に歩ける場所でなければならないからです。

「興正寺に来ると、不思議にいつもよりずっと長く歩けるの」と言葉をいただくことがあります。おじいちゃんが小さなお子様の危なっかしい歩みに優しい視線を送る、小さなお孫さんがおばあちゃんにそっと手を添える…、知らない入院士でも、ちょっとした気遣いや手助けをする…。そんな「心のパリアフリー」が整っているお寺でありたいと、興正寺は考えています。



①本堂横リフト

②龍湯堂エスカレーター

③車いすとスロープ

④車の貸出サービス

⑤専用昇降機があり車椅子で参拝できる西山本堂

⑥龍湯堂へ向かう石段構には国内でも最初的な境内エスカレーターを設置

⑦あちらこちらにあるスロープ。貸出し用車いすも各所に用意

⑧オレンジ色の車はどなたでも使用することができます

⑨AEDが納経所に設置され、救命救急時の対応にも力を入れております。

## 興正寺行事カレンダー

5月

普門圓拝観時間 10:00~16:00

休園日／3日(水)・7日(日)・13日(土)・14日(日)  
20日(土)・21日(日)・27日(土)・28日(日)

月	火	水	木	金	土	日
1 先負	2 仏滅	3 大安 慶法記念日 ○大般若經転読祈禱会 10:30 西山本堂 ○花まつり 13:00 本堂 12:45 より法話 △御詠歌初級講座 13:00 本堂出仕 鈴村智弘 ★一日修養会 10:00 要予約  ★永代供養受付定休日	4 赤口 みどりの日 ○大般若經転読祈禱会 10:30 13:00 西山本堂	5 先勝 こどもの日 立夏 ○大隨求明王 緑日 露店アリ 10:00 千支成満巡り ○大般若經転読祈禱会 10:30 13:00 西山本堂  大隨求明王	6 友引 ○十三参りの日 10:00 14:00 要予約 △御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	7 先負 ★団体参拝 弘法講十八本山巡礼 (要予約)
8 仏滅 ○大日如來緑日 12:30 大日堂 理趣分經祈禱	9 大安 △遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良  ★八琴庵定休日 ★永代供養受付定休日	10 赤口 △遊翠の心きもの装い 入門 10:00 応用 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円 △阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	11 先勝 戌の日 ○夏安居 開白 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 △遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 樹田英伸 △御詠歌上級講座 13:30 鈴村隆弘 光明殿	12 友引	13 先負 ○虚空藏菩薩 緑日 露店アリ 10:00 千支成満巡り 10:00 法話会 ★ゆらゆらベアストレッチ 10:00 11:30 普照殿 ★月釜 表千家 柴田紹和 興正寺 薄茶二席 1,500円  虚空藏菩薩	14 仏滅 △御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村智弘
15 大安 ○東山 奥之院緑日 13:00 奥之院 善之網おくり	16 赤口	17 先勝	18 友引 ○觀世音菩薩緑日 13:00 觀音堂 護摩祈禱／法話 △仏典読解講座 10:00 普照殿 樹田 英伸	19 先負 △御詠歌上級講座 13:30 鈴村隆弘 光明殿	20 仏滅 △阿息觀 14:00 奥之院 杉浦 宣秀 △御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	21 大安 小満 ○弘法大師緑日 10:30 弘法堂 読經／法話 ○月並御影供 14:00 本堂 △写経写仏講座 11:00 光明殿 △御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴村 智弘 ★TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 ★マタニティヨガ 13:00 普照殿 要予約  弘法大師 興正寺マルシェ
阿弥陀如来	★永代供養受付定休日		観世音菩薩			
22 赤口 △遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	23 先勝 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂 △遊翠の心 阿息觀 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良  ★永代供養受付定休日	24 友引 ○地藏菩薩緑日 13:00 能満堂 大数珠おくり／ 紙芝居  地藏菩薩	25 先負 △仏教入門講座 14:00 普照殿 森田 泰澄 △遊翠の心 茶の扉 竹翠亭 委問合 ★マンスリー木曜ヨガ 19:30 普照殿 要予約	26 大安 △遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	27 赤口 △阿字觀 13:00 奥之院 杉浦 宣弘	28 先勝 ○不動明王緑日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱／法話  不動明王
29 友引	30 先負 △御詠歌上級講座 13:30 鈴村隆弘 光明殿 △阿息觀 14:00 普照殿 杉浦 宣秀  ★永代供養受付定休日	31 仏滅	1 大安	2 赤口	3 先勝	4 友引
<div style="text-align: center;"> <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">日本草月協会 「天白さつき園」 主催</span> <span style="font-size: 2em; color: red;">さつき展</span> <span style="color: red;">5月12日(金)～14日(日) 新回廊にて さつきの展覧会。相談受付や即売品も。</span> </div>						



5月3日(水・祝)13時より(12時45分より法話) 西山本堂にて  
お釈迦さまの誕生をお祝いする法会です。「佛生会」「降誕会」とも呼ばれます。  
「花ろうそく奉納」奉納料／1本1,000円(ご自分で描かれる場合には500円)  
ろうそくに色とりどりの花を描いて、火を灯します。

特別  
朱印